



三 愛 だ よ り



発行 原則毎月第 2 木曜日

事務局 三木市細川町増田 1204 番地 発行責任者：北村

ホームページ <http://mikisizen.gl.xrea.com>

全山の梅の息吹を息吹とす/伊丹三樹彦

3月1日、虫の冬越し探検隊を開催

梅の便りも届き、春がそこまで来ていると感じられる一日でした。開会の 1 時間前に集まった会員により、先ずは、2 月 26 日に公園に届けられた堆肥を芋畑に運ぶグループと守池一号の西側で落ち葉を集めるグループに別れて作業をしました。午前 10 時に開会し、参加者は北村理事長から冬越しする虫について標本を見ながら説明を聞きました。その後、もんどりに入っていたニホンアカガエル、セトウチサンショウウオやハンノキのミドリシジミの卵を観察しました。また、会員が用意した朽木にどんな虫がいるかを探し、オオゴキブリ、ムカデ、コメツクムシの幼虫を発見。そして、いよいよ虫のお宿でカブトムシの幼虫探し。会員も子どもたち負けずに楽しそうです。約 40 匹を見つけ、飼育方法を学んだ参加者は、それぞれに持ち帰り用の容器に大事に入れました。また、来年のために虫のお宿へ落ち葉を入れる作業を参加者も行いました。どんどキャンプ場から無事に引っ越しができて良かったです。



2月中旬～3月中旬の事業報告

- 2月13日(木) 多面的機能保全向上活動発表会 13:30-16:00 文化会館 会員5名
- 2月18日(火) 北播磨県民局夏休みイベントの下見のため来園 14:00-15:00 県職員3名 会員5名
- 2月26日(水) 堆肥公園搬入立ち合い 会員1名
- 2月28日(金) 三役会議
- 3月1日(土) 虫の冬越し探検隊 10:00-12:00 一般5家族11名(子ども5名,おとな6名) 会員15名

【北村理事長作成資料】虫の冬越し探検隊

お漬の比較
 左: カブトムシの幼虫
 黒っぽくて楕円形、真鍮の上
 右: クワガタムシの幼虫
 クリーム色で楕円に開け目、朽木の中

タマムシ
 幼虫は取っつき、サクラやエノキの朽木の根を食べる。

カミキリムシ
 幼虫はタマムシほど取っつきではない、種類によって幼虫のえさとなる木に異なる
 右の写真: シロシカミキリ (日本最大)

ニホンキマワリ
 幼虫のお尻が平べったい

コメツクムシ
 左と中: コメツクムシ類の幼虫
 肉食のものもいる
 右: オオアケモンツクバタマ
 コメツク



カブトムシ幼虫の雌雄判別法 【小池会員作成資料】

一側によく言われているV字マークでの判別法、でもV字マークが出ない場合もあるらしく、顕微鏡で診せようです。

♂幼虫は腹面の乳印の中心に窪みが見えます。裏に覆いを中心にV字に白い神経が伸びているのが確認できます。



カブトムシの一生



// 市史編さん執筆者会議 14:00-16:00 市民活動センター 7名

- 3月5日(水) 県山田錦主産地農業遺産推進協議会総会 10:00-12:00 JAみのり本店 理事長
- 3月6日(木) 活動推進連絡会 19:00-21:00 市民活動センター 11名
- 3月7日(金) 三木市との情報交換会 15:30-17:00 三木市役所 市職員13名 会員6名
- 3月13日(木) 三愛だより発送作業 14:00 市民活動センター

重要なお知らせ サクラ、モモ、ウメなどの大敵発生。明石、三田や神戸でも確認されています。

《クビアカツヤカミキリ》

見つけたら直ぐに捕殺!!

通報 兵庫県自然鳥獣共生課 078-362-3389



※写真左から、「クビアカツヤカミキリの成虫」「幼虫のフラス」「成虫の脱出孔」

注: フラスとは、幼虫が排出する木くずとフンが混ざったものです。


間違いやすいフラス(ゴマダラカミキリ)

何がどう違うか

ゴマダラカミキリ
 フラス内の繊維質が長い

クビアカツヤカミキリ
 フラス内の材片はフレーク状





ふるさと公園だより

「三寒四温」は寒い日が3日ほど続くと、そのあと暖かい日が4日ほど続くという寒暖周期をあらわすことば。この時期の公園では、気温の変化を感じた生き物の新たな命が誕生します。



オオイヌノフグリ



ハコベ



ホトケノザ



ニホンアカガエルの卵塊(左)とオタマジャクシ(右)



セトウチサンショウウオと卵囊



ハンノキに産み付けられた
ミドリシジミの卵



イラガの繭



ツチグリ

3月中旬～4月三愛研事業活動予定表

日	曜日	行事 他	日	曜日	行事 他
3 月			7	月	
14	金		8	火	
15	土		9	水	
16	日		10	木	三愛だより発送作業 14:00 市民活動センター
17	月		11	金	
18	火		12	土	春の野草かんさつ&野草の天ぷらを楽しもう
19	水		13	日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 新年度、一般参加者から参加費をいただくこととなります。保険、材料費、資料代として小学生以上一人 200 円です。午前 10 時開会 </div>
20	木	-春分の日- 市民活動センター休館日	14	月	
21	金		15	火	
22	土	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 13:00 市民活動センター 多くの会員のご参加とご協力をお願いします。 </div>	16	水	
23	日		17	木	市民活動センター休館日
24	月		18	金	
25	火	年間イベントスケジュール配布仕分け	19	土	
26	水		20	日	
27	木	三役会議	21	月	
28	金		22	火	
29	土		23	水	
30	日		24	木	三役会議
31	月	おもだか原稿締切日	25	金	
4 月			26	土	
1	火		27	日	
2	水		28	月	
3	木		29	火	-昭和の日-
4	金		30	水	
5	土	理事会、活動推進連絡会 13:00 市民活動センター	【お知らせ】令和 7 年度の総会は 5 月 17 日(土) 市民活動センターです。詳細は次号にてお知らせします。		
6	日				

掲示板

「令和の米騒動」2024 年夏頃からスーパーマーケットの米の棚から商品が品薄になり、やがて空の日も珍しくなくなった。当初、農水省は新米が出始めると解消すると発表していたが、秋になっても状況に変化はなく、小売価格は高騰したまま。2025 年になって政府は、従来は不作や災害時を想定していた放出の運用を変更し、2023 年産と 2024 年産の備蓄米を最大 21 万トン放出すると発表。3 月下旬から備蓄米が店頭に並ぶ予定だが価格の下落は見通せていない。米だけでなくほかの食料品の値上げが続き、エンゲル係数は 2 年連続の上昇で 28.3%になり 43 年ぶりの高水準に。さて根本的な原因はどこにあるのやら。